

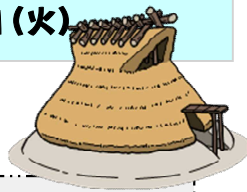


# 放課後等デイサービスどれみ 体験授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

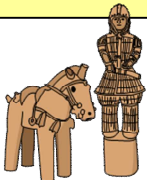
令和5年7月25日(火)



## 「粘土の感触を楽しみながら、集中して造形する姿 が多く見られ、とても良かったです。」

放課後等デイサービスどれみが、昔の人の生活を知ることと、作りあげる楽しさを知ることが目的に、小学2年生から中学2年生までの児童生徒と職員の方々14人が、ミニはにわ作りと展示室見学を行いました。

### ミニはにわ作り体験



「最初は、ひび割れて難しくかった。」

初めに、古墳や埴輪の歴史について話しました。静岡県では、あまり埴輪が出土していないことも学びました。次に、ミニはにわの作り方を説明しました。どのような形にしようか悩みながら、粘土をこね始めました。

本体の部分を先に作りますが、ひびが入ってきれいに作れなくて、苦労しました。それでも、やっていく内に水をつけながら、表面をなめらかに仕上げ、部品を作りました。みんな集中して取り組んで、個性的な作品を作りました。

「展示室にあるような首飾りをつきました。楽しかったです。」

「動物を作りました。楽しかったです。」

「馬に乗っている人を作った。剣と馬の足がポイントです。」

「みんなが上手に作っていたのがすごかった。最初はできないと言っていた子が、途中からいろいろ工夫してやろうとする努力が見られて良かった。」

### 指導員の感想

「はにわの形から、昔の人の生活や動物の姿を想像することができました。子どもたちも、親近感をもちながらはにわ作りに取り組んでいました。粘土の感触を楽しみながら集中して造形する姿が多く見られ、とても良かったです。分かりやすい説明と自由にのびのびと作る時間を、子どもと職員みんなが楽しむことができました。作り終わった後の自由見学も良かったです。丁寧な説明と優しい対応で、子どもたちが落ち着いて創作活動に取り組むことができました。楽しい時間をありがとうございました。」

